

# 星の夢百聞

第201号

発行日 2022年11月1日  
 発行 株式会社 おいらーく  
 札幌市東区東苗穂9条3丁目1-40  
 発行人 星野 二三江



## 銭函デイトレセンター

## 増築棟

オープン!  
**Open!**

銭函デイトレセンターでは、かねてより建設中の増築棟の工事や備品の搬入も終わり、10月1日にリニューアルオープンを迎えることができました。通ってくださっている皆様や関係者の皆様にはご不便をおかけしてありましたが、ご理解ご協力いただきありがとうございます。

工事終盤には増築棟への通路を簡易的なついでで塞いでおり、ついだての向こうが気になって覗かれている皆様へ早く見せたいところもウズウズしていました。オープン日にやっとお見せして増築棟でも過ごしていただけてとても嬉しく思っております！

それでは、リニューアル後の増築棟や活動の様子をご紹介します。

フロアの壁は白を基調とし、柱や仕切りの壁は銭函の海や空をイメージした青を採用しています。それに加え窓も多くて明るいのです！主な新しく導入した設備として、まずはレッドコードです。関節をほぐす、体幹を鍛える、転倒予防など様々な効果があります！そして、インボディは体重や体脂肪の他に筋肉量や水分、ミネラル量なども計測でき、全ての値を総合点でも表示してくれます。

レッドコード



インボディ



ウォーターベッド



酸素ルーム

体を癒したり疲れをとるコーナーにはウォーターベッド、ホットパック、酸素ルームが導入されました。ウォーターベッドは他事業所でも大変人気があり、デイトレでも需要が高まっています。水流による心地よい腰や背中への揉み加減や揺れでウトウトされる方もいらつしやいます。ホットパックは腰や肩を温めるだけでなく振動もするのでこちらも人気があります！

そして、おいらーく初導入の酸素ルームです。室内の気圧や酸素濃度を普段私たちが生活している環境より高くすることで疲れをとったり体をスッキリさせる効果があります。施術、加圧減圧の時間を合わせると少し長めですが、中にエアコンやテレビもついており快適ですよ！浴室には機械浴を設置し、浴槽をまたぐ動作に不安のある方でも安心して湯船に浸かることができます。今までも実施していた制作活動やレク・ゲーム等も好評開催中です。

リニューアルオープンしてまだ日が浅く、職員も不慣れな部分ありご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、皆様により楽しく充実したデイスタービスでの時間をお届けできるよう日々試行錯誤しながら頑張っております。今後も銭函デイトレセンターをよりよくお願いいたします。(横川将太)



機械浴





オンライン

# ダイバーズジョナル研究発表会

報告

DTとは？

ダイバーズ  
ジョナルセラピー

入居者さん・利用者さんが「好きなこと」「したいと思うこと」を、最大限実現させるにはどうしたらよいか考え実践すること。



発表者の皆さんと芹澤先生、星野理事長夫妻

豊生会グループで数年前から取り組んでいるDTの発表会が令和4年10月23日(日)3年ぶりに行われました。(総勢50名を超える人たちが参加してくれました)  
今年テーマを「コロナ禍でも楽しもう!」とし、8事業所が参加しました。おいらーくからは、えくぼ元町の海藤雄太さん、COCO東苗穂の北川美穂さん、山田智恵子さん、せんりの本間圭介さんが取り組んだDTを発表したのでその一部をご紹介します。(岸本英明)

## 報告 1.

香道・華道・茶道等活発に過ごされていたAさん。身体を悪くしてせんに入居した頃には依存的・受身的な状況にあった。どうにか以前のAさんに近づけることができないかと考えた。きっかけの1つになればとトウキビの皮むきを他の入居者さんと行ったところ30本のトウキビを5分程でむき終わり、その後開催した夏祭りでは一番大きい焼きトウキビを自ら選択し食べられた。この行事をきっかけに表情がしっかりとされ、やりたいことを言葉に出せるようになった。

本間 圭介さん



## 報告 2.

1日の大半を居室で過ごし意思表示が困難で表情の変化も乏しいAさんに何かできないかと日常の関わりから情報を収集した。Aさんの誕生日が近いということもあり誕生日会で好きなカラオケを行った。普段言葉を発することが少ないAさんだったがマイクを離さずとても楽しそうに歌っていた。

海藤 雄太さん



## 報告 3.

コロナ禍で外出できないし、住宅の中の行事が少なく身体を動かす機会が少ない。との訴えがTさんからあった。Tさんだけでなく他の入居者さんも不便な思いをしていると考え、夏らしいことはできないかとスイカ割を企画した。スイカを通しコミュニケーションがとれ笑顔を引き出すことができた。



北川 美穂さん



山田 智恵子さん





# おいらーく 後期 オリエンテーション開催!

令和4年10月3日、エルパサ敷地内、みなえーる大会議室で、今年の4月以降入職の新入職員向けの、秋期オリエンテーションが開催されました。このオリエンテーションは4月と10月半期ごとに実施しており、集合型の行事ですが、感染対策万全に何も無いことを祈りながら、新入職員のみなさんに早く会社に馴染んでいただくために、コロナ禍でも欠かさず継続しています。この度は、ミャンマーからの技能実習生もあわせて、14名のみなさんにご参加いただきました。

年明け行事の新燃会が来年も難しい状況で、コミュニケーションが希薄になっていっているので、昨年からの後期のオリエンテーションでも幹部職員からの入職お祝いの挨拶をいただく時間を設け、今年も多くの先輩から祝福、激励のメッセージを贈っていただきました。幹部のみなさん、お忙しいところご協力いただき本当にありがとうございます。

最初のカリキュラムは星野代表自ら新入職員のみなさんにおいらーくを知っていただくために、魂のこもった会社紹介です。おいらーくの生い立ちから、理念、業績、各事業所や取組みの特徴、イベントなどエピソードをまじえながら、詳しくご説明いただきました。

その後、総務から一新された人事評価システム説明、接遇マネー紹介、就業規則解説をお聞きいただき、午前のプログラムは終了です。

配食事業部でご準備いただいたピラフ弁当でのお昼ご飯の後は、バスで近隣の事業所見学に出かけました。入居施設は時節柄車窓からの外観紹介になりましたが、デイサービスは管理者のみなさんまのご好意で入館しての見学ができました。各デイサービスでは特徴や取組を熱心にご説明いただき、みなさんほととも興味をもたれた様子でした。その後、エルパサへ戻り、入居施設のみなさんまご協力のもと、ZOOMでの施設紹介を実施しました。距離の関係で訪問する機会の少ない銭函事業所からは、ココ輝楽の居室や設備、工事中のおさんぽカフェ、増床オープン直後の銭函デイトレセンター、国道沿いの黄色く大きな「介護のおいらーく」の看板などを紹介いただきました。札幌の各施設も、動画を駆使したお部屋の紹介や、電波の関係で写真を使用しての詳細な施設内紹介、管理者自らいろんな工夫を凝らしてリアルタイムでご紹介いただけました。参加のみなさんも熱心に視聴され、車窓のみの印象からライブでの施設内の映像が繋がり理解が深まったと感じられました。ZOOM紹介出演の施設のみなさんまのおかげです。ご協力ありがとうございます。

最後は、利用者様が帰宅され、静かになったエルパサをご見学いただき1日のカリキュラムを終えました。朝から夕方まで、びっしりのプログラムと新環境の緊張とでお疲れになったと思います。このオリエンテーションが少しは役に立ち、末永くおいらーくで活躍いただけることを祈願しております。(総務 尾川)



## 銭函

### お散歩カフェオープン間近

いよいよです。おさんぽカフェがリニューアルオープンします！着々と工事が進み、その時をワクワクしながら待っています。

照明や客席のテーブル、いすは以前のカフェで使用した馴染みのもの。新しい場所で馴染の道具を利用しての新旧の融合が楽しみです。常連のお客様が椅子につける座布団を作ってくれました。皆さんの協力があったって運営ができることを改めて実感しています。

完成間近のカウンターは車椅子の方でもゆったりくつろげるスペース。ペンダントライトが素敵です。広いホールは日差しが入りあたたかな雰囲気です。外壁には看板が上がりました！工事関係者のみなさん、好きなカフェにしてくれてありがとうございます！

地域の方には町内会長さんのご協力で回覧板を回し周知しています。おさんぽカフェで新しい出会いが生まれるといいなあと期待しています。

おいらーくのみなさん、本当に素敵なカフェです。銭函に来た際はぜひ一度立ち寄りみてください。おいしいコーヒーを用意してお待ちしています。(菅原 智絵)





# 行事

## 散歩の感想はそれぞれ

介護付き有料老人ホーム うらら伏古

9月末から10月中旬、天候を見て、15分前後の近隣の散歩を行いました。裏の公園に行ったり、近所の庭を見せてもらったり、玄関先のベンチに座り日光浴をしたり、入居者さんのペースに合わせながら、職員も一緒に秋の空気を感しました。外に出ることを控えていただいていた入居者さんに「外の空気を吸っていただきたい」「風を感じてもらいたい」「きつと喜んでくださるだろう」と思っていました。

ところが、帰って来られた入居者さんに散歩の感想を伺うと「疲れた」と硬い表情。施設の中は、独歩や歩行器で歩くことができても、外は勝手が違っていたようです。私が一緒に散歩をした入居者さんも「眩しい。早く部屋に帰りたいよ」と話されました。

花を見てきれいだねと感激する方や風が気持ちいいと言われる方、うららの庭を見て手入れが行き届いていると感心する方など。ほとんどの方は、久しぶりに外へ出たことを喜んでくださいました。そうではない感想を持たれた方もいらつしやいました。歩道は真つすぐではないこと、日差しは蛍光灯の明かりとは違うことなど、3年近く外に出ることのなかった入居者さんの正直な気持ちに考えさせられるものがありました。

(小林まゆか)



看護小規模多機能型居宅介護事業所  
えくぼ元町

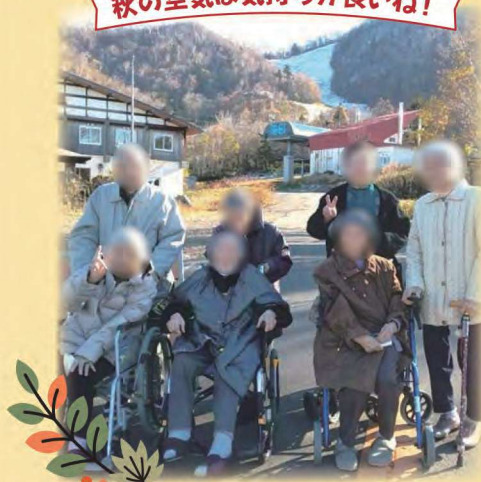
## 手稲山で紅葉散策

今月は、手稲山にて紅葉散策に行きました。天候にも恵まれ、皆さん天気に誘われ気分も高揚されていたようです。気温も低く、歩くには少し厳しい状況でしたが、外の空気に触れ、色づいた木々を目の前に昔みた景色と照らし合わせながら参加されていた方が多かったです。

屋外での活動は今後難しくなるかと思いますが、きらら伏古のDT発表のようにな屋内でも屋外を感じるDTを今後は実施してければと思います。(海藤雄太)



### 秋の空気は気持ちが良いね!



介護付き有料老人ホーム せんり  
ミャンマーの伝統的な仏教行事である満月の祭り  
ダディンジュ (Thadingyut)

ダディンジュ満月祭りは雨安居(うあんじ)が明けた西暦10月の満月の日(今年は10月9日)に迎える祝日です。満月の日はお釈迦様が黄泉の国で天神様達に説教を伝えた後に天から舞い戻ってきた日に開催されます。

「ダディンジュ」はミャンマーの伝統的な習慣で、普段お世話になっている人に感謝の意を込めて贈り物をする日でもあります。また、連休となることから帰省する人も多く、家族との時間を過ごす時でもあるということです。(HPから抜粋)彼女たちはたまたま休みの日だったので、職員みんなに来てほしいと要望があり、一部を除き休みの職員も集まりました。

当日、民族衣装に身を包んだ彼女たちから、日本語での感謝の言葉と、ミャンマー語での感謝の言葉、贈り物(素敵なお品)を頂きました。感極まって涙する職員も…。その時の写真を添付します。(本間圭介)



感謝の気持ちを込めて…!



# 行事

## ピアノ演奏会開催！



7月上旬に支給して頂いた大変立派なピアノですが、今まで昼食時にプチコンサートや、ピアノや音楽を取り入れた運動ゲームなどを時々行なっておりましたが、演奏会を開催したのは今回が初めてとなりました。

10/21(金)に開催しました。後から知ったことなのですが、意外な事にピアノ演奏をたくさん聴きたい！と希望される方が多い曜日でした。まずは入場時にトラの着ぐるみで登場すると、笑い声が響きました。時期的にハロウィンなので何となく着て演奏してみました。まずは皆様の知っているとされる定番曲を3曲くらい演奏し、皆様しんみりと聴き入って下さいました。

次にタンバリンや鈴、カスタネット等の簡易楽器を数名に持って頂き、演奏に合わせて鳴らして頂きましたが、皆様しつかりリズムに併せて鳴らして頂きましたので大変素晴らしいかったです。途中着ぐるみの暑さに気付いて、脱がせて貰いました。こんなに汗だくになりながらのピアノ演奏は恐らく人生初かも知れません。その汗だくになった様子を見て皆様更に大笑いでした。

その後歌詞カードをお渡しし、伴奏に併せて『故郷』を合唱して頂きました。コーラスの経験者かな？と錯覚してしまう程、大変美しい歌声でした。まだまだ練習不足で不完全な中、皆様に喜んで頂けて良かったと思えました。(田中 寿)

トラの仮装は好評でした！



## 秋の料理教室



今月の料理教室は「かぼちゃのティラミス」を作りました。毎月、職員同士で話し合って何を作るかを決めるのですが、「ティラミスのようなクリームチーズを使う物が高齢の方に好まれる味なのだろうか？」との意見がありました。しかし、試作品を作ってみると、旬のカボチャは甘みが強くクリームチーズと相性がピツタリで、和風の味に仕上がりました。「これはいける！」と確信し、ポスターを貼り出すと、さっそく利用者さんから「ティラミスって美味しいの？」と声が聞かれました。

「試作品を食べたらとっても美味しかったよ」とたくさん宣伝をしました。利用者さんの中には50代の方もいらっしやり「俺が若い頃にティラミスが流行ったんだ、美味しいから一緒に作ろう」と皆さんを誘って戴いた事もあり、総勢40名の方が参加してくれました。毎月の料理教室では作業工程や時間を考え、利用者さんに作れた事が自信に繋がるように工夫しております。ティラミス作りにはマシュマロを使い電子レンジを使う事で簡単に作れるレシピとなっており、皆さんあつという間に完成され「食べるのが楽しみ」とおっしゃってました。

ちなみにティラミスの語源には「私を元氣付けて」と言う意味があるそうです。ご家族や大切な方に食べて頂き、元氣をもらってくださいと伝えていきます。

(柴田 直彦)

秋らしい美味しいスイーツができました！



## 利用者様増加 ミニ改装

てんやわんや北31条デイサービスセンターでは、この度9月20日より介護職員を増員し、今までより多い一日30名迄通所頂ける様になりました。それに伴い、今まで事務所のスペースを縮小し、ご利用者様にお使いいただけるテーブルとパソコンデスクをご用意しています。

もう一枚の写真は、現在テーブルの上に設置しているテレビを、壁掛けにすることで、どの席からも皆さんから見やすくなるよう変更する予定です。

その他にも、細かいレイアウトを見直し、現在も模様替え中です。お近くに寄られた際にはお気軽にお越し下さい。(日渡誠一郎)



利用者様に快適に過ごして頂くために…!



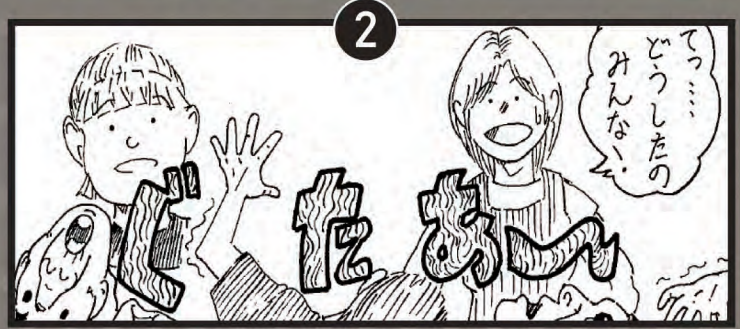
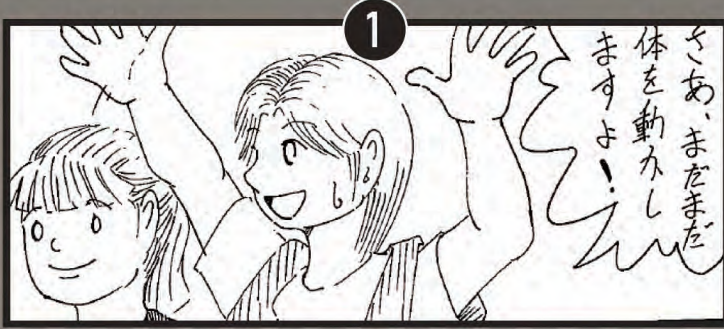


# なべちゃん

4コマ

# 介護日記

NO.17



## 第86弾

## ドラムす子でバチ当たり人間のよもやま話



令和4年10月1日、あの「燃える闘魂」アントニオ猪木がこの世を去った。享年79歳。3年前から「心アミロイドーシス」という国指定の難病を患っていたという。あんなに強かった猪木が...

小学生のころ日本プロレス中継(確か金曜の夜8時だったと思う)を毎週欠かさず夢中で見ていた。自分にとってのヒーローはもちろんジャイアント馬場とアントニオ猪木だ。そしてB-1砲とも呼ばれる彼らのタッグは最強だった。試合の展開に一喜一憂しながらも馬場の16文キック、水平チョップ、脳天唐竹割り、ヤシの実割りに歓声をあげ、猪木のドロップキック、コブラツイスト、土固め、ジャーマンスープレックスにしばれたものだ。子供にとっては感情移入しまくりの1時間。興奮もしたが疲れもした。

翌日小学校では昨日の日本プロレスの話で盛り上がる。プロレス技をみんな確認してみたり、しまいにプロレス同好会のような組織を作りそれぞれ対戦しランキングまで決めていた。男の子はみんなプロレスが大好きだった。当時の私の決め技は逆エビ固めだった。

馬場は体が大きく攻撃力も強いのだが、猪木のスピードや闘志あふれるファイト、鋭い眼差しに魅了された。そして私はほとんど猪木に惹かれて行く。だがいつしかそんな二人は袂を分かち、馬場が全日本プロレス、猪木が新日本プロレスという団体を率いるライバルとなる。全日が予定調和的な試合展開だったのに対して、新日は実力主義でより過激なものだったと記憶している。当時猪木のシングルマッチで印象に残っている対戦選手はたくさんいるが、なかでもタイガー・ジェット・シン、スタン・ハンセン、アンドレ・ザ・ジャイアント、ハルク・ホーガンなどの外人レスラー、一方で国際プロレスの実力者ストロング小林やラッシュャー木村ら日本人同士の試合も衝撃的だった。

猪木はかねてからボクシング等に比べプロレスが正当に評価されないことに憤り、プロレスこそが最強の格闘技であることを公言しその証明として異種格闘技戦の道も歩みだす。

最初の対戦は柔道金メダリストのウィレム・ルスカ。そして世紀の試合、ボクシング世界ヘビー級チャンピオンのモハメッド・アリと戦う。この時のことは今でもうつつすら覚えている。当時高校生だった私は友達数名と学校帰りその一人が住むアパートでこの試合を観戦した。あるいはこの試合見たさにみんなで早退したのかもしれない。ともかく小さな画面をみんなで食い入るように見つめた。

試合開始とともに猪木はマットに仰向けとなる。アリはなすすべなく猪木の周りでステップを繰り返す。時折猪木がアリの足へキックするものの決定打にはならない。ラウンドを重ねても同じような展開がずっと続き我々の期待はいずれ失望へと変わって行った。(以下次号へと続く...とほほ)(蓮川亭士)





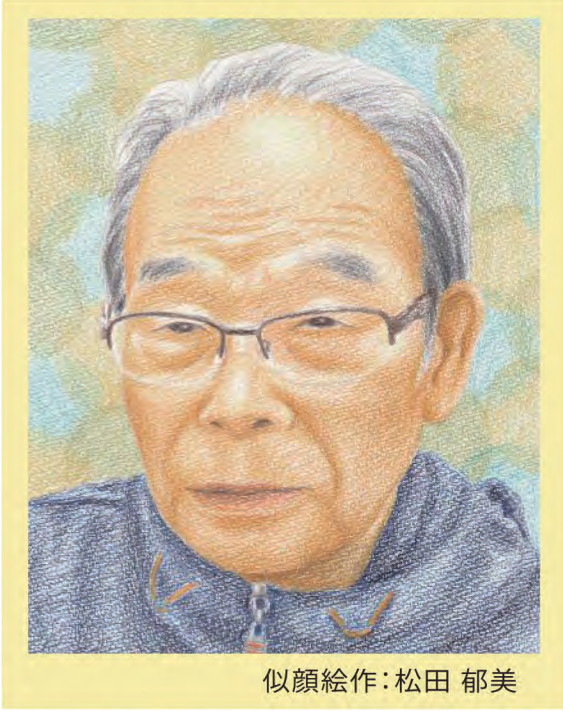
# 人間万事塞翁が馬

K様は昭和12年1月27日に6人兄弟の長男として生まれました。父は軍の施設で中国の満州に軍馬を送るために馬を育てる仕事をされ、母は専業主婦だったそうです。ご両親は青森出身ではありませんが、北海道に仕事に来ておりK様が生まれる時には知り合いの多い青森に戻り生んだそうです。

十勝の勢多小学校、美里別中学校、本別高校を卒業後弘前大学に進学されました。弘前大学では児童文化研究会に所属され、学校を訪問し紙芝居を作ったり、ちよつとした踊りを披露されていました。その後教師になられます。教師になった理由は「小学校の時に何となく」だそうです。

最初は十勝の雄馬別で教師を始め、そこは僻地の学校で高学年の4年生、5年生、6年生を受け持ったそうです。奥様とは同僚の教師からの紹介で出会い結婚をされました。その後は4〜6年で転勤を繰り返しながら奥様、子供たちと生活をされていました。

退職後は芽室町に奥様と2人で生活をされていますが、奥様は少しずつ家事が出来なくなり、K様が食



似顔絵作：松田 郁美

事を作るなど献身的に奥様を支えていました。

2人での生活が難しくなってくると高齢者住宅を探し、長男様の住む札幌に転居され、ご夫婦でサ高住に入居しデイサービスを利用されていました。

2020年12月に奥様と共にCoCo元町式番館に入居されています。K様は物静かな方でいつも奥様の話を静かに聞いている姿が印象的で、心の広い大らかな方だといつも感心しておられます。また、お互い支え合いながら生活をされている姿は素晴らしいご夫婦の理想で、羨ましさすら感じられます。

CoCo元町式番館で出会えたことは本当にうれしく思います。これからもご夫婦仲良くいつまでもお元気でいて下さいね。好きな曲は美空ひばりの『リングの唄』です。(佐々木浩二)



## 行事

### 5年越しの大運動会!!

小規模多機能型居宅介護事業所えくぼ

10月10日にえくぼで大運動会が開催されました。えくぼ職員の鶴木さんによる5年越しの念願の企画です。

選手宣誓から始まりラジオ体操。いよいよ競技の開始です。玉入れでは肩が上がり、声も出される方、パン食い競争では目がキラキラされ、じゃんけん大会では大きく腕を振っていました。

利用者様の年齢が若くなっていく気がしました。職員も負けてられません。運動機能向上、皆とのコミュニケーション、全員が一つになりました。

コロナ禍で外出もままならず、身体も動かしていなかったのにパワーがみなぎっていました。本当に皆様ケガもなく若返ったと感じた運動会となりました。消毒等の手伝いや協力をして頂いた職員たちに感謝です！(鎌田 裕香里)



楽しく体を動かすことができました!



おいらーく

# 10月行事内容と11月行事予定

## 令和4年11月行事予定

令和4年  
11月行事予定

せんり  
○誕生会


うらら伏古  
○16日・17日  
タイトル未定

えくぼ東雁来&  
ココ東雁来式番館  
○とくし丸(移動販売)  
○金さん銀さん

えくぼ元町&  
ココ元町  
○20日 季節を感じよう

えくぼ&  
ココ元町式番館  
○フリーマーケット

銭函お散歩カフェ  
○いよいよオープン!!!  
11月上旬を予定しています。  
新しいおさんぽカフェ、  
ご期待ください!



ココ輝楽  
○誕生会  
○訪問理容  
○とくし丸(移動スーパー)

## 令和4年10月行事内容とイベント風景

令和4年  
10月行事内容とイベント風景


○ドッグセラピー  
○誕生会  
○ダディンジュ  
(ミャンマー版敬老の日)



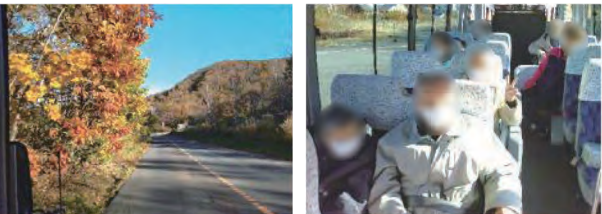
○12日・19日  
リラクゼーション活動(ネイル、フットケア等)



○とくし丸  
○金さん銀さん  
○焼き芋



○紅葉ツアー



○10日運動会(えくぼ)  
○16日運動会(サテライトえくぼ)



○2日・16日 趣味の会



○衣料販売 ○誕生会 ○訪問理容



## 経営方針

『高齢者も障害者も住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくり』を目指し、つねに『ご利用者様の立場にたった総合的な介護・福祉企業』のあるべき姿を探究し続けるオンリーワン企業を目指します。